

2007年3月27日開催 第516回 番組審議会

■ 出席委員

荒巻裕委員長 櫻井美幸副委員長 大村英昭委員 木下明美委員
國定浩一委員 東野博昭委員 黒田勇委員(書面参加)

■ 毎日放送出席者

石橋専務 本多専務 西常務 田中常務 上田常務
山西報道局長 西岡ラジオ局長 東編成局長 三村制作局長 熊広報室長

◆ 審議事項

「MBSの番組・放送について。放送界全般について」

毎日放送の第516回番組審議会は3月27日大阪市北区の本社で開かれました。今回は個別の番組審議ではなく、「MBSの番組・放送について。放送界全般について」というテーマで、意見を交換しました。

委員の主な意見

- *毎日放送の番組を見ていると、全体としてゆったりとした雰囲気があり、安心感がある。みんな楽しく、きょうも1日がんばるな、みたいな雰囲気。
- *視聴率という魔物に、ある意味で鈍感になり、作りたいものを作るという高い志を持ってほしい。
- *毎日放送のゴルフ中継番組の放送内容に関して出された嚴重注意だが、スポーツ番組のことで嚴重注意というのは過去に例がないという。政府機関による余計な干渉ではないか。

* 「らいよんチャン」 「MBS ドクホン」 など、局のイメージ作りにセンスの良さを感じる。関西の局では一番成功している。

「世界陸上」は純粋に競技を楽しませてくれることを期待する。

* 関西テレビのように、放送、番組に関わる問題が起きたときに、番組審議会の役割、社会的見識が問われる時代になっている。マスコミの根本は「ウソをつかない」ということ。

* 総務省の放送法改正に向けた動きについて、放送を作り出す人たちの自由闊達な発想や制作力、その源となる活力をそぐのではないかと非常に危惧している。

* 「ちちんぷいぷい」はMBSのフラッグシップとして、関西ばかりでなく日本全体のテレビ文化に対する影響は大きかったと評価する。内容的には多様な視点や考え方を提供するという意味で、大きな貢献をしてきた。

◆ 報告事項

テレビ・ラジオの4月編成について

テレビ、ラジオの4月編成の概要・特徴について、編成局長とラジオ局長がそれぞれ報告しました。

委員の交代について

木下委員が3月例会を最後に退任されました。

そして新たに音楽家の神谷徹氏が委員に就任されました。